

第63回日本母親大会 in 岩手

「核兵器のない未来 子らに」アピール採択

第63回日本母親大会が8月19、20日岩手県で開催されました。くらしや教育、平和などについて話し合い、学び、交流しました。全国各地から

述べ1万7000人が参加しました。

ハタノこうめ、ながやてる子両議員も参加しました。

私は、陸前高田市へ被災地訪問の移動分科会に参加しました。

移動のバスの中は、岩手自治労の方の案内でした。環境衛生の部署ということで遺体安置所の設置、火

葬、消毒、ゴミ収集、腐った水産加工物の処理など不眠不休の対応。生々しい話、つらく悲しい話を聞きました。車窓は、ここに人々の営みがあったことが想像できない、一面造成地が広がり、重機やダンプカーが砂埃を上げながら走り去って行きます。

住宅再建と心のケア、心の復興を果たすことができるよう、子どもから高齢者まで市民みんなが活躍し、いきいきと笑顔で過ごせるノーマライゼーションという言葉のいらぬまちを実現すると。この町が出来上がった、あんなにポロポロになっても立ち上げられる、蘇れるんだという姿を見てもらえるように全力を尽くす力強く語られました。

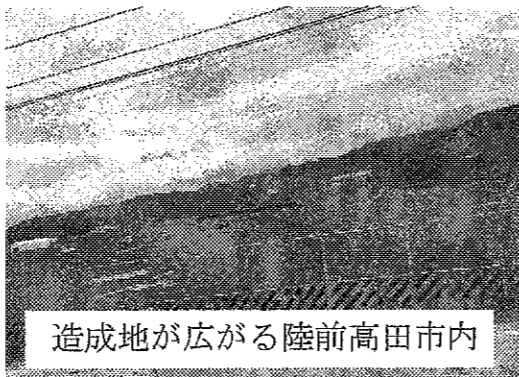
まだまだ復興は緒に就いたばかりです。大変な経験をしてきたからこそ、優しく、暖かい、そして立ち直る強さに、勇気をもらって来ました。

全体会では「子どもたちに『核兵器のない平和で明るい未来を』手渡すためにともに力を合わせよう」との大会アピールを採択しました。

市議会議員ハタノこうめ



講演をする戸羽太市長＝19日陸前高田市



造成地が広がる陸前高田市内

市長の奥さんも行方不明となられました。職務を優先し、探しに行けなかったことや、奥さんの身体を確認したときの話は、市長も会場も涙・涙でした。

母親大会とは
1954年、ビキニ環礁でアメリカによる水爆実験で世界に衝撃が起こった。同年に女性運動家平塚らいてうら「原水爆禁止」の訴えがきっかけとなり、「原子戦争の危機から子どもの生命を守る母親の大会を」として、1955年6月に日本母親大会が誕生した。同じ年の7月に世界68カ国が参加して世界母親大会をスイスで開催した。以後「生命を生み出す母親は生命を育てる命を守ることをぞみます」のスローガンを掲げ、毎年開催されている。

各務原市議会 9月議会日程

9月定例議会が下記の日程で行われます。9月議会は2016年度の決算を審議します。日本共産党各務原市議団は、市民のためになる事業が行われたか、貯め込みすぎて市民を苦しめていないかなど、市民の立場でしっかり審議します。ハタノこうめ議員は、総務常任委員会、ながやてる子議員は経済教育常任委員会です。一般質問や委員会の傍聴にお出かけください。

開会はいずれも10時からです。

月 日	曜日	議 会 日 程
8月29日	火	議会運営委員会
9月 1日	金	開会
4日	月	一般質問通告 (10時締切)
5日	火	質疑通告 (10時締切)
13日	水	質疑・一般質問
14日	木	一般質問
15日	金	一般質問予備日
19日	火	民生消防常任委員会
20日	水	経済教育常任委員会
21日	木	建設水道常任委員会
22日	金	総務常任委員会
27日	水	閉会



水脈読者版 第157号

2017年8月24日発行 / 日本共産党各務原市議団ハタノこうめ、ながやてる子
各務原市川島小網町2144-55 TEL 0586-89-3924 携帯090-9947-4988



7万本の松が1本だけに「奇跡の一本松」